

ひごまると学ぼう！熊本城

おしろのあるまち 熊本



ひごまる

お城ってなに？

およそ450年前の日本ではたくさんの戦い^{たたか}がおきていました。そのため、敵の攻撃^{てきこうげき}をふせぐお城が日本中につくられました。お城は、山の形をうまく使いながら石垣^{いしがき}をつくり、その上に天守^{てんしゅ}や櫓^{やぐら}という建物^{たてもの}をつくって守りを強くしました。



熊本城ってどんなお城？

熊本城は加藤清正^{かとうきよまさ}というお殿さま^{との}が1599年からつくりはじめたお城です。京町台地^{きょうまちだいち}につながる茶臼山^{ちやうすやま}という低い山^{ひく}につくっていて、お城の近くには坪井川^{つぼいかわ}・井芹川^{いせりがわ}・白川^{しろかわ}が流れています。とても大きなお城で、お城のまわりは5.4キロメートル、およそ98万平方メートルの広さがあります。



山の形をうまく使ってつくったお城なんだね！



熊本城って何がすごいの？

たくさんの石を高く積んだ石垣や、地面を掘ってつくった堀がよく残っています。さらに、石垣の上には江戸時代から残っている櫓や塀などの13の建物があります。熊本城のあちこちで、400年前の守りの工夫を見ることができます。



熊本城の基礎情報

広さ	およそ98万平方メートル(うち特別史跡は約58万平方メートル)
天守	大天守3層6階地下1階、小天守3層4階地下1階
重要文化財	13棟(宇土櫓、田子櫓、七間櫓、十四間櫓、四間櫓、源之進櫓、東十八間櫓、北十八間櫓、五間櫓、不開門、平櫓、監物櫓、長塀)
石垣	973面 およそ79,000平方メートル

天守とは？



城の真ん中にある一番高い建物。
明治時代など新しい時代になると「天守閣」とも呼ばれる。

櫓とは？



石垣の上などに建てた建物。
見張りをしたり武器を置いたり、戦いときには中から攻撃したりした。

もっと知りたい！熊本城のギモン



だれが住んでいたの？

本丸御殿は、はじめは加藤清正の住まいとして建てられました。後の時代になると坪井川の南にある花畑屋敷で暮らすようになり、お城にはだれも住まなくなります。

食べられる城って本当？

戦いに備えて壁にカンピョウを入れ、畳の中にはサトイモの茎を入れたと言われていますが、今のところその証拠は見つかっていません。